

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金【実施状況及び効果検証】

| No. | 事業区分 補助事業 単独事業 | 事業名称 | 事業概要ほか | 総事業費 【実績】 (円) | 交付金 充当額 (円) | 実施期間 | | 事業の効果【実績】 |
|-----|----------------------|-----------------------|--|---------------------|-------------------|-------------|-------------|---|
| | | | ①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③経費の【実績】内訳 ④事業の対象(交付対象者、交付対象施設) | | | 事業開始 年月日 | 事業完了 年月日 | |
| 1 | 単独事業 | すくすくみらい応援 誕生祝金 | ①新型コロナウイルス感染症による経済的影響が長期化するなか、子育て世帯に対する緊急的な生活支援策として、令和3年度中に出生した子の親権者に対して給付金を支給する。 ②令和3年4月1日から令和4年3月31日までに誕生し住民票基本台帳に登録された子育て世帯に対して支給する。 ③100千円×20人=2,000千円 ④令和3年4月1日から令和4年3月31日までに誕生した子どもの親(親権者) | 2,000,000 | 2,000,000 | R3.4.1 | R4.3.23 | コロナ禍における生活への影響が長期化する中で、子育てに対する不安から、子どもを産むことをためらうことの内容、また誕生した子どもが順調にすくすくと育つよう願いを込め、保護者の経済的な負担を軽減するために一定の効果があった。R2年度出生数26人。R3年度20人。 |
| 2 | 単独事業 | オール五城目生活 応援商品券発行事業 | ①新型コロナウイルス感染症の終息が見通せないなか、町民1人当たり10千円の商品券を発行することでその生活を支え、併せて、消費喚起につなげることで町内商工業者の支援とする。 ②商品券の発行及び換金業務等委託料 ③(1)消耗品費 30,744円 (2)印刷製本費 145,753円 (3)通信運搬費 163,247円 (4)業務処理委託料 ①商品券換金業務委託料 90,150,212円 ②商品券等印刷・発送・管理業務委託料 6,344,595円 ④令和3年5月1日において、住民基本台帳に登録されている住民 | 96,834,551 | 92,417,000 | R3.4.1 | R4.3.9 | 町民生活を支援するとともに、町民の消費により町内経済を下支えすることができた。換金率98.90%。 |
| 3 | 単独事業 | 離職者応援資格取得 助成金支給事業 | ①新型コロナウイルス感染症の影響により離職した求職者を対象に、就業機会をより多く見出せるよう、令和2年1月1日以降に取得した資格に係る受験料等の経費を上限200千円とし求職者に助成する。 ②資格取得に要した受験料等の経費(上限200千円) ③助成金 8人 計776,480円 ④新型コロナウイルス感染症の影響により離職し、求職状態の中で資格を取得したものの。 | 766,480 | 760,000 | R3.4.1 | R4.3.31 | コロナ禍で町内企業の工場閉鎖などもある中、離職者の再就職に向けた資格取得を支援し、町民生活安定の下支えに効果があった。 |

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金【実施状況及び効果検証】

| No. | 事業区分 補助事業 単独事業 | 事業名称 | 事業概要ほか | 総事業費 【実績】 (円) | 交付金 充当額 (円) | 実施期間 | | 事業の効果【実績】 |
|-----|----------------------|-------------------|---|---------------------|-------------------|-------------|-------------|--|
| | | | ①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③経費の【実績】内訳 ④事業の対象(交付対象者、交付対象施設) | | | 事業開始 年月日 | 事業完了 年月日 | |
| 4 | 単独事業 | 新生活応援給付金 | ①平成14年4月2日から平成15年4月1日までに生まれ、進学、就職等新たな生活を始める子を持つ親に対して、新型コロナウイルス感染症により長引く経済的影響を緩和し、子どもに対する負担を軽減するため、子ども1人につき5万円を新生活応援給付金として給付する。 ②子どもに対する負担を軽減するための経費 ③(1)消耗品 申請用紙代等 9,999円=9,999円×1式 (2)通信運搬費 郵便料 3,528円=@63円×56通 (3)新生活応援給付金 給付金 2,800,000円=@50,000円×56人 ④平成14年4月2日から平成15年4月1日までに生まれ、進学、就職等新たな生活を始める子を持つ親 | 2,813,527 | 2,800,000 | R3.4.1 | R3.9.30 | コロナ禍で、収入の減少が考えられ中、進学・就職など新たな生活を送る子どもを持つ保護者の、コロナ禍により更に掛かり増しになる費用に対し、負担の軽減の効果があつた。 |
| 5 | 単独事業 | 学校給食費支援金 | ①令和3年9月から令和4年3月分までの学校給食費について全額免除することで、新型コロナウイルス感染症の影響による子育て世帯の経済的負担を軽減し、教育の充実、子育て支援を図る。(町外の小中学校へ通学するものに対しては、相当分を支給する。) ②小・中学校給食費を免除(町外への通学者は相当分を支給) ③給食費 12,394,166円※7か月分。 ④町内住所を有し、小中学校に在籍している児童等の保護者 | 12,394,166 | 12,300,000 | R3.9.1 | R4.3.31 | コロナ禍における子育て世帯の経済的負担の軽減に効果があつた。 |
| 6 | 単独事業 | 高校生等ふるさとからのエール給付金 | ①新型コロナウイルス感染症による経済的影響が長引く中、高校生等の子どもを持つ保護者に対して、一人につき5万円給付することで、子育て世帯の経済的負担を軽減し、高校生への学習支援、子育て世帯の生活支援を図る。 ②高校生等の子ども1人につき5万円を給付 ③(1)消耗品 申請書用紙代 25,000円 (2)印刷製本費 封筒印刷代 28,050円 (3)通信運搬費 郵便料 38,217円 (4)高校生等ふるさとからのエール給付金 @50,000円×173人=8,650,000円 ④令和3年4月1日に町の住基台帳に登録されており、引き続き住所を有する保護者 | 8,741,267 | 8,600,000 | R3.7.9 | R4.1.26 | コロナ禍において、高校生等の子どもを持つ保護者の経済的負担の軽減に効果があつた。 |

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金【実施状況及び効果検証】

| No. | 事業区分 補助事業 単独事業 | 事業名称 | 事業概要ほか | 総事業費 【実績】 (円) | 交付金 充当額 (円) | 実施期間 | | 事業の効果【実績】 |
|-----|----------------------|-------------------|---|---------------------|-------------------|-------------|-------------|---|
| | | | ①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③経費の【実績】内訳 ④事業の対象(交付対象者、交付対象施設) | | | 事業開始 年月日 | 事業完了 年月日 | |
| 7 | 単独事業 | 大学生等ふるさとからのエール給付金 | ①新型コロナウイルス感染症による経済的影響が長引く中、大学生等の子どもを持つ保護者に対して、一人につき10万円給付することで、子育て世代の経済的負担を軽減し、大学生の就学支援、子育て世代の生活支援を図る。 ②大学生等の子ども1人につき10万円を給付 ③(1)消耗品 申請書用紙代 25,000円 (2)通信運搬費 郵便料 35,143円 (3)大学生等ふるさとからのエール給付金 @100,000円×131人=13,100,000円 ④令和3年4月1日に町の住基台帳に登録されており、引き続き住所を有する保護者 | 13,160,143 | 13,100,000 | R3.7.9 | R4.1.26 | コロナ禍において、大学生等の子どもを持つ保護者の経済的負担の軽減に効果があった。 |
| 8 | 単独事業 | 飲食宿泊関連事業継続支援金 | ①新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、宿泊や飲食控えが長期化しており、町の宿泊施設や飲食店においても早々に明かりが消えている状況にある。全国的見ても宿泊、飲食業界の経営状況は厳しいとされ、特に町では家族経営も多いことから、これらの業態に対して事業継続を支援するため補助金を支給する。 ②補助金及び事務的経費 ③(1)消耗品 封筒代等事務用品 14,993円 (2)通信運搬費 郵便料 4,418円 (3)補助金 宿泊事業者@500,000円×3者=1,500,000円 飲食売事業者@300,000円×33者=9,900,000円 酒類販売事業者@300,000円×10者=3,000,000円 ④飲食及び宿泊関連事業者 | 14,419,411 | 10,402,000 | R3.10.1 | R3.12.10 | コロナ禍により甚大な影響をうけている宿泊、飲食関連事業者に対して、今後の事業の継続、経営支援に対して効果があった。 |
| 9 | 単独事業 | あったか生活応援事業 | ①町内全世帯を対象として灯油購入等に係る経費の一部を助成することで、冬期間の室内換気を励行し新型コロナウイルスから町民の健康を守る。 ②補助金及び事務的経費 ③(1)消耗品 29,986円 (2)印刷製本費 311,234円 (3)通信運搬費 575,611円 (4)補助金 灯油等助成金 @5,000円×3,464世帯=17,320,000円 ④全世帯 | 18,236,831 | 16,100,000 | R3.12.1 | R4.3.30 | 灯油価格高騰による影響を鑑み、町民の健康と経済的な負担の軽減を図ることができた。特に、本支援により、コロナ禍の冬期間においても換気の励行を進めることができた。 |

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金【実施状況及び効果検証】

| No. | 事業区分 補助事業 単独事業 | 事業名称 | 事業概要ほか | 総事業費 【実績】 (円) | 交付金 充当額 (円) | 実施期間 | | 事業の効果【実績】 |
|-----|----------------------|------------|--|---------------------|-------------------|-------------|-------------|---|
| | | | ①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③経費の【実績】内訳 ④事業の対象(交付対象者、交付対象施設) | | | 事業開始 年月日 | 事業完了 年月日 | |
| 10 | 単独事業 | 稲作経営安定支援事業 | <p>①当町においては兼業農家が多くを占めるが、新型コロナウイルスの影響により飲食店が影響を受ける等、米の販売価格も大幅に下落したことから、給与所得にとどまらず家計全体に影響が及んでいる。このことから、購入量の主食用米作付面積30a以上、かつJAあきた湖東等への出荷実績がある町内販売農家に対し、種子購入費などに係る次期作に向けた経費に対し助成することで経営を支援する。</p> <p>②補助金及び事務的経費</p> <p>③(1)消耗品 86,779円 (2)印刷製本費 23,991円 (3)通信運搬費 ハガキ代及び送付・返信用切手 161,840円 (4)補助金 稲作経営安定支援金 330件 @3,000円×77,070a/10a=23,121,000円</p> <p>④470経営体</p> | 23,393,610 | 20,900,000 | R3.12.1 | R4.3.15 | 町内農家が来年度の作付けに向けての意欲が醸成され、コロナ禍を理由とした離農者の減少に効果があった。 |